

## 令和4年度 事業者向け 児童発達支援事業自己評価表

ほわわ台東

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>				活動室やテナントビルの屋上も活用し支援している。適切な広さがあるがその分、室内にこもってしまいがちなので外出の機会を増やしていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>				規定はクリアしているが看護加配が取れるような配置が望ましい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>				エレベーターがあること、段差がない作りになっていることから配慮がされている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか			<input type="radio"/>		職員間の情報共有が課題である
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>				アンケートの電子化（匿名性の保持）や活動写真の電子配布を行なった。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>		外部評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>				年間計画を基に研修を実施している。パート職員への研修が不足しているので増やす必要がある。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか			<input type="radio"/>		実施しているがアセスメントの質を高める必要がある。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>				法人内でフォーマットがあり使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか			<input type="radio"/>		多職種はいるがほぼひとりでの立案になっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>				季節に応じたプログラムを取り入れている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			<input type="radio"/>		未就学児のため、年齢や発達に応じた支援をしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>				朝夕のミーティング、電子ツールの活用、月1回の全スタッフ対象の会議にて漏れがないようにしている。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				共有している。短期間での振り返りはできているが長期スパンでの振り返りが課題。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○			実施しているが発達を企てられていない。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				参加できている。もしくは参加者が事業所の情報を集約してから参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				年長児については行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○				区内の保育園の園庭開放に参加させてもらっている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○		送迎の際に積極的に情報収集を行う必要がある。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		
保	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		以前は土日のイベントでそれを賄っていた。今年度数年ぶりにクリスマス会を開催し来年度で頻度を増やして交流イベントを企画する。

護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				電子連絡ツールを導入し対応している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				自治会向けに見学会を開催した。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			保護者への周知が不十分。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか				○	身体拘束は行っていない
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				